

4月17日（金） 2026年度春季リーグ戦第3節1回戦

【試合結果】

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計
阪公大	0	0	2	0	0	0	0	0	3	2	7
神医大	1	0	0	0	0	0	1	4	0	0	5

大阪公立大学(3塁側)

対

神戸医療未来大学(1塁側)

【打者成績】

打順	守備	名前	学年	出身校	打数	安打数	打点	
1	中	根来	4	府立生野	5	2	0	
2	遊	林	3	大阪明星	4	3	0	
3	指	前田	4	須磨学園	4	1	0	
4	一	菱田	3	関西大倉	5	3	2	
5	左	上岡	3	泉陽	4	1	1	
6	二	田中大	3	彦根東	5	2	2	
7	三	越智	2	乙訓	3	0	0	
	打	中澤	2	丸亀	1	0	0	
	三	田中創	4	金沢桜丘	0	0	0	
8	捕	小田	3	一条	4	1	0	
9	右	野田	3	須磨学園	4	1	2	
投		片山	4	府立池田	-	-	-	
		川田	4	奈良県立郡山	-	-	-	
		宮田	3	倉敷青陵	-	-	-	
合計	三振	四死球	犠打・犠飛	併殺打	盗塁	打数	安打数	打点
	6	3	4	1	0	39	14	7

【打者成績】

打順	守備	名前	学年	出身校	打数	安打数	打点	
1	二	石川	4	小松	4	0	1	
2	中	廣瀬	4	高知中央	4	1	1	
3	一	児嶋	3	美来工科	4	0	1	
4	左	林	2	東農大二	6	2	0	
5	捕	岩本	3	山梨学院	3	1	0	
6	右	合田	3	箕面学園	2	1	0	
7	指	黒木	3	日本航空	2	0	0	
	走指	中川	4	滋賀学園	0	0	0	
	打指	高橋	3	聖カタリナ学園	0	0	0	
8	三	高良	3	小松大谷	2	0	0	
	打	柳澤	3	誠恵	1	1	1	
	三	岩城	3	彩星工科	0	0	0	
9	遊	山口	3	社	3	1	1	
投		山田悠希	3	山梨学院	-	-	-	
		八田	4	広陵	-	-	-	
合計	三振	四死球	犠打・犠飛	併殺打	盗塁	打数	安打数	打点
	8	13	5	0	1	31	8	5

【投手成績】

名前	回数	投球数	打者数	打数	被安打	奪三振	四死球	失点	自責点
片山	6	107	27	21	4	6	6	1	1
川田	1 2/3	35	10	5	2	1	3	4	4
宮田	2 1/3	45	12	5	1	1	4	0	0
合計	10	187	49	31	7	8	13	5	5

名前	回数	投球数	打者数	打数	被安打	奪三振	四死球	失点	自責点
山田	8 2/3	137	42	36	13	6	3	5	5
八田	1 1/3	14	4	3	1	0	0	2	0
合計	10	151	46	39	14	6	3	7	5

【選評】

今節こそ勝ち点を掴み取るべく、初戦を勝利で飾り、勢いをつけようと、チーム一丸となって挑みました。

まず初回、先頭の根来（経4・府立生野）がレフトの頭上を超える二塁打で出塁すると、林（工3・大阪明星）の犠打で三塁へ進みます。内野ゴロの間に本塁を狙うも、相手の見事な送球によりタッチアウトとなり、先制点とはなりません。

一方、本日の先発は今季初先発の片山（生4・府立池田）。立ち上がりには死球を与えるも、小田（医3・一条）の牽制刺で流れを引き寄せ、その後は二者連続三振で無失点に抑えます。

チャンスが訪れたのは3回表、一死から林、前田（現4・須磨学園）の連打でチャンスを作ると、4番菱田（農3・関西大倉）の二塁打で1点を先制。さらに上岡（工3・泉陽）の適時打で1点を追加します。

援護を受けた片山は、走者を背負いながらも持ち前の力強い直球で要所を締め、得点を与えません。5回には三者連続三振を奪うなど、圧巻のピッチングを見せます。

7回表、先頭の林が安打で出塁し、前田が犠打で得点圏へ進めますが、あと一本が出ず追加点とはなりません。

その裏、片山は先頭打者に本塁打を浴び1点を返されます。さらに四球を与えたところで川田（理4・奈良県立郡山）が登板。後続を落ち着いて打ち取り、追加点を許しません。

8回裏には、安打や四球などで二死満塁のピンチを招くと、適時打を浴び、同点に追いつかれます。さらに押し出し四球で勝ち越しを許し、宮田（工3・倉敷青陵）がマウンドへ。しかし、適時打と押し出し四球でさらに2点を失います。

このままでは終われない9回表、根来、林の連打でチャンスを作ると、菱田の適時打で1点を返します。さらに上岡が四球を選び二死満塁とすると、田中大（経3・彦根東）が三遊間を破る適時打を放ち、2点を追加。土壇場で同点に追いつきます。

その裏、続投の宮田は複数の四死球と犠打で二死満塁のピンチを迎えますが、気迫の投球で後続を打ち取り、得点を許しません。試合はタイブレークに突入します。

10回表、先頭の片山がきっちりと犠打を決め、一死二三塁。続く野田（現3・須磨学園）の適時打で2人が生還し、貴重な2点を奪います。

守り切りしたいその裏、この日も宮田がマウンドに上がります。犠打を決められ一死二三塁とされるも、最後は三振と内野フライに打ち取り試合終了。7-5で勝利いたしました。